

第 8 回東京環状道路有識者委員会について

日 時：平成 14 年 6 月 10 日(月) 18:30 ~ 20:30

会 場：ダイヤモンドホテル「サファイア」

出席者：(委員長) 御厨 貴 政策研究大学院大学教授
 (委員) 石田 東生 筑波大学社会工学系教授
 越澤 明 北海道大学大学院工学研究科教授
 中条 潮 慶應義塾大学商学部教授
 森田 恒幸 国立環境研究所社会環境システム研究領域領域長
 東京工業大学大学院教授

主な意見：

ヒアリングについて

- ・東京商工会議所 東京再生委員会 委員
 環境委員会 副委員長 田畑 日出男

都市再生の観点から、外環の必要性について、東京商工会議所が検討した資料に基づき発言。

- ・草加市役所 建設部 技監 佐藤 充

供用区間の自治体として、計画から供用までの経緯と地域が行った取り組みについて紹介。

PI 外環沿線協議会について

- ・進行についてなど、規約に縛られすぎることなく、柔軟な運営が重要ではないか。
- ・代理出席について、個人による出席と役職による出席とは考え方を分けるべきではないか。
- ・関係者の構成員数が、区市により異なるが、同じ数にすることも考えた方がよいのではないか。
- ・議事録は一般に公開すべきである。
 公開することです承されている旨、事務局から説明。
- ・普通の会議では議論しない事項(進行役、事務局等)についても、信頼関係を確認しあう作業として慎重な議論が必要。
- ・今日の段階では、協議会に係る情報が少ないため、コメントはできないが、次回の委員会までには 4 ~ 5 回程度の協議会が開催されていると思うので、それらの内容の報告を受け議論していきたい。

第一次提言とその後の対応について

- ・たたき台以降の対応を示すべき。
- ・今後環境分野の専門家の意見も聞いていく必要がある。
- ・ヒアリングでは、観念論ではなく、具体的な意見を聞けるよう対応してもらいたい。